



## 福島第1地下水ドレン水位上昇

東京電力福島第1原発で発生する汚染水が1日300トンから600トン程度に増加していることが18日分かった。汚染地下水の海洋流出を防ぐ海側遮水壁の完成後、岸壁に近くトリチウム濃度が高い井戸「地下水ドレン」の水位が想定を超えて上昇。くみ上げて原子炉建屋へ移送する量が増えたのが原因といつ。海側遮水壁は10月下旬に完成。裏電は当初、地下水ドレンからくみ上げ、建屋に建屋への流入が続き、建屋への移送量は1日400トン程度

# 汚染水の発生量倍増

に上っている。

建屋周辺の井戸から地下水をくみ上げ、浄化後に海

放出する「サブドレン」

が9月に稼働。建屋に流れ込む地下水量は1日30

0トンから600トンに減った

が地下水ドレンからくみ上げ量が増え、汚染水発

生量が2倍程度に増えた

が地下水ドレンからくみ上げ量が増えた

る。

想定以上にくみ上げ量が

増えたのは、サブドレン稼

働で地下水の流れが変わつ

た可能性や、海側遮水壁が

影響を与える可能性もあ

る。

想定以上にくみ上げ量が

増えたのは、サブドレン稼

働で地下水の流れが変わつ

た可能性や、海側遮水壁が

影響を与える可能性もあ

る。

想定以上にくみ上げ量が

増えたのは、サブドレン稼

働で地下水の流れが変わつ

た可能性や、海側遮水壁が

影響を与える可能性もあ

る。

想定以上にくみ上げ量が

増えたのは、サブドレン稼

働で地下水の流れが変わつ

た

う。

う。

出典:河北新報 2015年12月19日付